

令和7年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和8年3月27日

学校法人有馬学園

緑ヶ丘幼稚園

1. 本園の教育目標

何事も意欲的で、集中力があり、子どもらしい明るさを持ち、情緒的に安定した子どもの育成を目指す。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ① すべてのお子様が快適で安全な環境、そして温かな見守りのなかで日々楽しく園生活を送る。
- ② ワクワクする遊びや体験を通して、今後の人生を豊かに歩む力を培う。
- ③ ひとり一人の個性や発達を把握して、きめ細かい保育を行い、卒園や進級を見据えた切れ目ない保育を行う。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子ども達にとっての快適で安全な環境となっていたか	A	園庭全面人工芝化をはじめ、園内全てが常に清潔で安全に整備され、良い環境であった
2	遊びや体験が子ども達の人生を歩む基礎・土台となっていたか	A	様々な体験を通じて「できた」という達成感を得ることで前向きな心の土台を培っていた
3	一人ひとりの個性や発達を考慮したきめ細かい保育となっていたか	A	園長をはじめ教職員全体が子どもの様子を把握し、園全体で温かく見守っていた

評価(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
A	教育目標を日々の園生活のなかで実践する先生方の運営力や他園にない様々な指導や経験は子ども達の成長につながっているというのが評価委員の大半の意見であった。

評価(A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	発達の切れ目ない保障	誰でも通園、満3歳児通園から年長まで幅広い年齢の子ども達が通うなかで、それぞれの発達を切れ目なく保障し、一人ひとりに寄り添った保育を行う。
2	安全・安心な場	子ども、保護者そして社会にとって幼稚園が安全・安心な場となるように、環境構成、様々な社会情勢に対応した迅速かつ明確な対応を行う。
3	保育の質の向上	今の子ども達の状況をよく理解したうえで、遊びや体験活動の内容を保育の質の向上という観点で見直し、一人ひとりに合った指導計画を作成する。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・様々な行事があり、思い出を沢山作ることができる。他園にはない指導や経験ができ、小学校へ上がる為の土台を3年間でしっかりつくることができたと思う。
- ・園全体で子ども達一人ひとりを温かく見守っていただき、全幅の信頼を置いて預けられる保護者の方がとても多かった。